

令和 元年度  
岡山県内におけるカワウねぐら調査報告書  
(冬期調査)



日光浴するカワウ

日本野鳥の会岡山県支部

令和 元年度 2月

# 岡山県内における冬期のカワウのねぐら利用個体数調査報告

## 1. 目的

近年、個体数・分布域が増加・拡大し、農林水産業等に被害を与えているカワウについて、生息状況を把握し、今後の鳥獣被害防止対策の適正な推進のための基礎資料とする。

## 2. 調査の内容

県内の冬期カワウのねぐらを観察し、カワウの生息状況について調査した。

## 3. 調査の方法

### (1) 調査回数及び調査時期

年1回（冬期）カワウの生息状況のモニタリングのため、ねぐらにおける個体数調査をカワウがねぐらとしている場所を特定しておいて冬期のカワウねぐら調査を12月中旬から1月上旬の間に行った。

### (2) 調査場所

県内のコロニー及びねぐら

### (3) 調査事項

カワウの個体数等

① コロニー及びねぐら入りしている個体数

② コロニー及びねぐらへ帰還してくる個体数及び飛来方向

なお、ねぐらへ帰還してくる日没前後の時間帯において個体数及び飛来方向等を調査しその記録を記した調査記録用紙は別紙「平成30年度 冬期のカワウねぐら調査結果 資料編」に示す。

## 4. 調査結果

本年度県内で冬期に生息するカワウの羽数は、7,053羽であった。

その内、吉井川水系で1,170羽、旭川水系で1,731羽、高梁川水系で1,269羽、そして海上部における海岸域で2,883羽の利用分布であった。

確認できたカワウのねぐら確認場所とカウント羽数を表-1に示す。

カワウのコロニー・ねぐら調査箇所は、44か所行い、その中で利用していた個所は、32個所であった。利用されていない個所は、そのほとんどが繁殖期のコロニーとして利用していた場所であった。また、新たにねぐらとして確認された場所が3個所見つかった。

表一 令和 元年度 冬期ねぐらにおけるカワウ利用生息数調査

No.	河川名	ねぐら場所	調査月日	本年の羽数	昨年の羽数
1-1	吉井川	岡山市東区川口 中州 観音院対岸	1月13日	513	294
1-2	"	岡山市東区百枝月 豆田対岸	1月10日	128	202
1-3	"	赤磐市熊山勢力 山陽道橋下流	1月3日	139	64
1-4	金剛川	和気町藤野	12月16日	31	51
1-5	吉井川	和気町佐伯苦木	12月19日	5	6
1-6	"	和気町佐伯塩田 備作大橋下流	12月19日	0	0
1-7	"	和気町佐伯塩田 周匝橋下流	12月19日	25	48
1-8	"	津山市瓜生原 押淵上バスター停対岸	12月21日	8	0
1-9	"	津山市日上	12月21日	94	71
1-10	"	津山市宮尾 新錦橋上流	12月24日	147	86
1-11	琵琶首池	勝央町植月北 琵琶首池	12月26日	6	—
1-12	広谷新池	津山市日本原 広谷新池	12月26日	0	0
1-13	吉野川	美作市青野 尾谷橋下流	12月30日	74	65
1-14	切池	勝央町福吉 切池	12月26日	0	0
		吉井川 水系 小計		1,170	887
2-1	百間川	岡山市中区沖元 百間川中洲	12月29日	286	—
2-2	旭川	岡山市中区中原 三野公園前	12月20日	1,105	979
2-3	"	岡山市北区御津 中牧湯須	12月27日	0	21
2-4	"	岡山市北区御津矢原	12月21日	71	0
2-5	"	岡山市北区建部町吉田 中吉橋上流	12月24日	88	76
2-6	旭川ダム	美咲町栃原 旭川ダム湖 浮桙上	12月18日	46	62
2-7	"	真庭市落合町法界寺	12月25日	75	215
2-8	二井大池	赤磐市桜ヶ丘西 二井大池	1月1日	54	48
2-9	大苅田池	赤磐市大苅田 大苅田池	12月29日	0	—
2-10	砂川	岡山市東区瀬戸町笹岡 砂川	1月6日	6	3
		旭川 水系 小計		1,731	1,432
3-1	遊水池	倉敷市水島川崎通り 汐入川遊水池	12月20日	380	229
3-2	高梁川	倉敷市酒津 清音古地の対岸	12月15日	301	307
3-3	"	総社市福谷	12月13日	199	106
3-4	"	高梁市玉川町玉	12月25日	103	46
3-5	"	高梁市中井町西方	12月29日	0	0
3-6	成羽川	高梁市備中町布賀黒鳥 黒鳥ダム下流	1月16日	67	—
3-7	成羽川	高梁市成羽町阿部山	12月13日	0	—
3-8	成羽川	高梁市備中町角子	12月13日	0	—
3-9	成羽川	高梁市備中町平川 新成羽川ダム湖	12月16日	0	0
3-10	河本ダム	新見市哲多町宮河内 河本ダム	12月8日	84	25
3-11	小田川	井原市木之子町 小田川	1月2日	0	0
3-12	星田池	井原市美星町星田 星田池	1月3日	20	34
3-13	蛭田池	井原市木之子町 蛭田池	1月1日	115	102
3-14	皿池	倉敷市真備町箭田 皿池	12月12日	0	—
		高梁川 水系 小計		1,269	849
4-1	片上湾	備前市 片上湾 前島	1月9日	452	306
4-2	牛窓町	瀬戸内市牛窓町鹿忍	1月4日	243	225
4-3	児島湾	岡山市南区宮浦 高島	1月15日	1,375	1,062
4-4	児島湾	岡山市南区阿津 鳩島	12月28日	0	48
4-5	水島灘	倉敷市児島通生 葛島	12月29日	445	286
4-6	玉島港	倉敷市玉島柏島 玉島港 丸山	1月21日	368	—
		海岸域および河川以外の場所 小計		2,883	1,957
		県内44か所中32か所利用 冬期カワウ生息数 総計		7,053	5,125

各河川水系における出現割合を図-1に示す。

図-1 令和元年度 各河川水系における出現割合

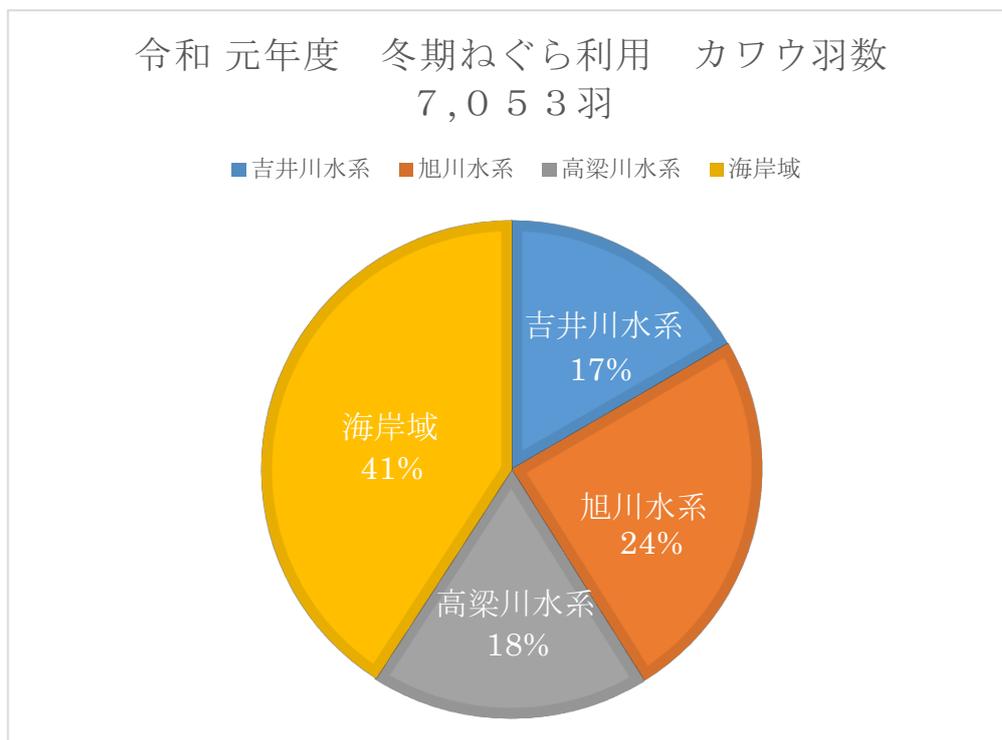
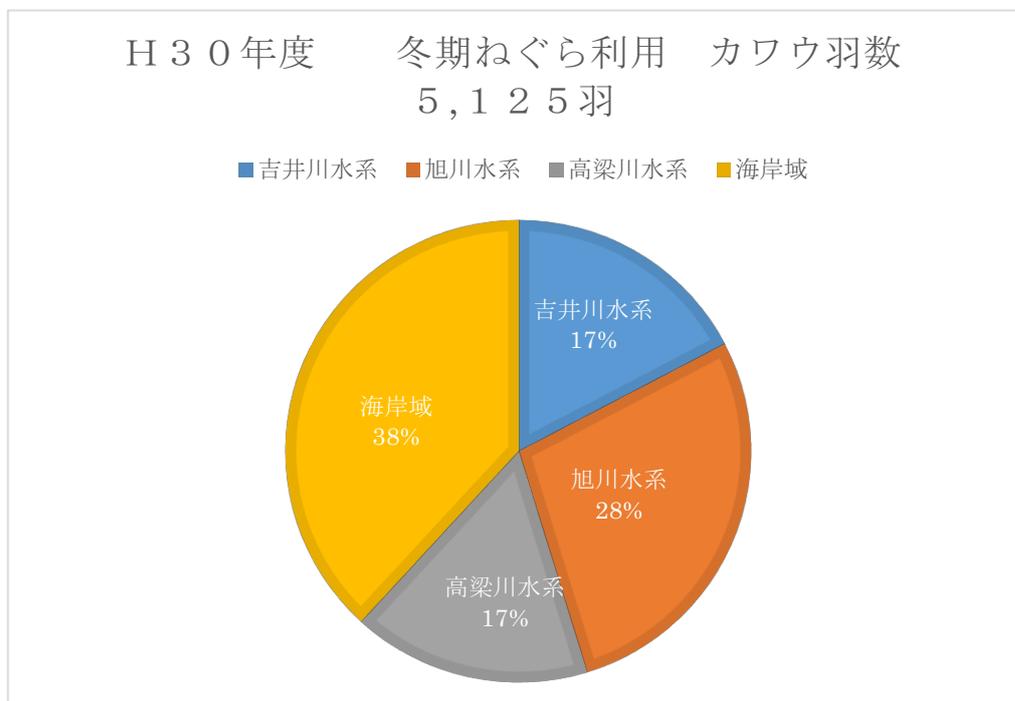


図-2 平成30年度 各河川水系における出現割合



昨年と比較して羽数が1,928羽の増加である。今年は海岸域での増加が3ポイント増加してその羽数増に拍車をかけているが、旭川水系では逆に4ポイント減少している。



## 5. まとめ

令和 元年度、冬期において岡山県内に生息するカワウの個体数を夕刻に「ねぐら入り」する羽数をカウントして調査した結果、総数 7,053羽を数えた。

今年度、繁殖期春のコロニーでカウントした羽数は、2,383羽でしたから春の繁殖期と比較すると冬期は4,670羽、繁殖期の2倍近い個体が岡山県内に流入してきている事になる。特に、海岸域での増加が大きいと思われる。

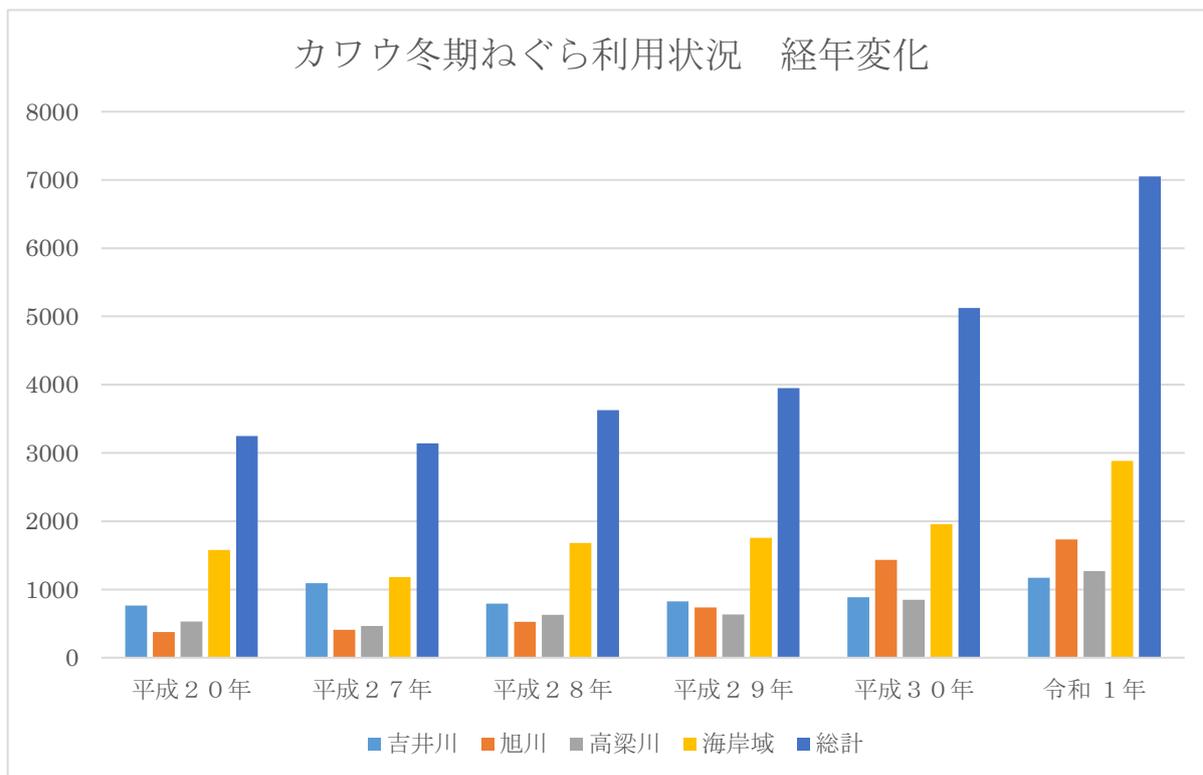
今年度確認された冬期羽数を以前の調査結果と比較すると表-2となる。

表-2

年度	R元年度	H30年度	H29年度	H28年度	H27年度	H20年度	H18年度	H14年度
羽数	7,053	5,125	3,949	3,629	3,140	3,245	3,344	2,251

昨年度より、さらに1,928羽増えて7千羽を超えるカワウを数えるに至っている。

図-3 経年変化図



県内の総数を見ると徐々に増加していることが分かるが、昨年度5,000羽を超え、さらに今年度7,000羽を超える羽数を確認した。

河川別に見ると、海岸域での羽数が多いことが分かり昨年は2,000羽弱であったのが今年度は3,000羽弱となっている。3河川では旭川の羽数が多いことが分かる。概ね3河川は千羽台で推移している。

完